

令和4年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

(計画額 3,167千円 実績額 1,531千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位：千円)

団体名	事業名	助成金額
高岡市国際交流協会	日本語教室	70
富山ネパール文化交流会	富山ネパール文化交流会の皆さんと一緒にデザイン祭を祝う	100
富山ロシア協会	ロシア語を学ぶ子どもたちのためのクリスマス会	70
氷見市国際交流協会	中華圏の正月“春節”を体験しよう!	40
射水市民国際交流協会	射水市堀岡地域における多文化共生推進事業	200
KODOMOTACHI	外国人児童生徒の学習支援とコミュニティ図書館を通じた多文化共生推進事業	200
富山県華僑華人会	子ども向け中国語教室	200

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

日時：11月17日(木)

会場：富山県民会館611会議室

表彰者：個人(5名)

今井 史子 富山市民国際交流協会ボランティア副委員長

黒川 哲男 富山県日韓親善協会副会長

陳 建強 富山県華僑華人会顧問

平岡 麻子 通訳ボランティア・英語講師

古井 晴香 洋舞指導者・可西舞踊研究所助教授

団体(1団体)

砺波市オランダ友好交流協会(代表 米原 蕃)



(3) 国際交流フェスティバルウィーク in TOYAMA

例年の国際交流フェスティバル（1日のみ）に代えて、県民が異文化に触れ合う機会を提供

時 期：11月13日（日）～11月18日（金）

会 場：CICビル内

参加者数：延べ338名

主 催：富山市民国際交流協会、（公財）とやま国際センター

協 力：独立行政法人国際協力機構 北陸センター

2 国際協力事業

（計画額 53,953千円 実績額 51,393千円）

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
アルゼンチン	1名	5カ月	パレブラン高志会館（調理）
中国（短期）	1名	3カ月	富山情報ビジネス専門学校（日本語教育）

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	5カ月	高岡市立野村小学校



(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
南米留学生	1名	令和4年9月～令和5年9月	富山大学
インドAP州留学生	1名	令和4年9月～令和7年3月	富山県立大学
ロシア沿海地方留学生	1名	受入れ中止	
中国遼寧省留学生	1名		
県立大学遼寧省留学生	1名		

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	3名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	23名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	123名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

・助成額：年額12千円（本人負担分の約2/3）

・支給者数：私費留学生 131名 日本語教育機関学生 105名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。 引受件数 75件

ウ アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携してアセアン地域から受け入れる第5期生（当初予定では令和2年度に来県）について、滞在中の日常生活等を支援予定だったが、受入れ延期となった。

エ 留学生交流拡大・魅力発信事業

外国人留学生が富山県の観光地等を訪れ、魅力に感じた見どころや富山での暮らしぶりについて、インターネット等により海外へ向けて発信する活動を支援した。

立山室堂へのバスツアー（9月25日 4か国16名参加）

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋地域海行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1,170千円（ブラジル、アルゼンチン）
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 5,394千円

3 多文化共生事業

（計画額 24,568千円 実績額 21,169千円）

(1) 多文化共生フォーラムの実施

県民や在住外国人が多文化共生に関する理解を深めることを目的に開催した。

時 期：11月20日（日） 参加者：82名

場 所：インテックビル（タワー111）3階 スカイホール

内 容：第1部 対談「ピーター流生き方のすすめ」

ゲスト 数学者・大道芸人 ピーター・フランクル 氏

聞き手 （公財）とやま国際センター

国際交流専門員 中村 則明

第2部 パネルディスカッション「多文化共生で地域が変わる！」

パネリスト NGOダイバーシティとやま 宮田 妙子 氏

KODOMOTACHI シルビア・デ・ソウザ 氏



(2) 富山県外国人ワンストップ相談センターの運営

ア 相談体制

- ・専任職員（相談コーディネーター及び相談員）を配置し、3カ国語（英語、中国語、ポルトガル語）については、平日9:00～17:00で常時対応
- ・その他、ベトナム語（火・木曜日9:00～17:00）、韓国語・テルグ語（月曜日13:00～17:00）、ロシア語（火曜日13:00～17:00）は国際交流員が対応
- ・上記以外の言語は、外部通訳委託（13言語）のiPadや多言語翻訳機（ポケットーク）で対応
- ・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（トリオフオン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを実施

イ 関係専門機関との連携

①法テラス富山地方事務所との連絡会

日 時 4月18日（火）

場 所 富山県弁護士会館

※相談センターで弁護士による専門家相談を実施することについて県国際課も交えて協議した。

②射水市小杉下地域包括支援センター

日 時 6月10日（金）

場 所 射水市小杉下地域包括支援センター

※中国残留孤児の今後の介護支援について当センターが担えることを話し合った。

③介護労働安全センターとの連絡会

日 時 7月5日（木）

場 所 介護労働安全センター

※外国人介護人材の動向及び今後、情報を共有していくことの必要性について確認した。

④南砺市社会福祉協議会

日 時 7月28日(木)

場 所 とやま国際センター研修室A

※南砺市社会福祉協議会による外国人住民のための居場所づくりについて情報提供を受け、そこに集まる相談対応について検討した。

⑤連合富山との連絡会

日 時 2月20日(月)

場 所 とやま国際センター

※外国人労働者の労働環境及び連合富山の取組みについて情報を共有した。

ウ 業務内容の発信

①小矢部市・砺波市・南砺市三市社会福祉協議会が主催する生活困窮者自立支援事業・生活福祉資金貸付事業担当職員合同研修会での講演

日 時 7月14日(木)

場 所 小矢部市社会福祉協議会 研修室

内 容 「外国人への相談対応について」

講 師 富山県外国人ワンストップ相談センター

相談コーディネーター

参加者 28名

②黒部市立中央小学校5年生総合学習「困っている外国人」での授業

日 時 10月28日(金)

場 所 黒部市立中央小学校 渡り廊下広場

内 容 富山県にお住まいの外国人の方々がどのようなことで困っているかについて考える

授業者 富山県外国人ワンストップ相談センター 相談コーディネーター

参加者 5年生56人 教員 4名

③黒部市立中央小学校5年生総合学習「意見交流会」

日 時 11月30日(水)

場 所 黒部市立中央小学校 体育館

内 容 黒部市に住んでいる外国人について理解を深める

参加者 5年生56名 教員 5名 ミャンマーからの研修生、ドイツ人の労働者、富山県外国人ワンストップ相談センター相談コーディネーター等

④日本語教室 in 黒部 日本語を学ぶ外国人とそのサポーター向け研修会

日 時 3月26日(日)

場 所 黒部市国際文化センター

内 容 日本語教室に集まる相談について

講 師 富山県外国人ワンストップ相談センター 相談コーディネーター

参加者 外国人10名 日本語サポーター6名



エ 相談対応能力向上のための研修会

①相談員ネットワーク研修会

日 時 11月8日(木)

場 所 環日本海交流会館

主催者 名古屋出入国在留管理局

講 師 審査部門入国審査官4名

参加者 相談員8名、相談コーディネーター

②外国人相談員ネットワーク会議

日 時 3月3日(金)

場 所 とやま国際センター研修室A

主 催 富山県、とやま国際センター

講 師 NPO法人CINGA 相談コーディネーター 新居みどり 氏

演 題 「外国人受入政策の動向」

参加者 富山県外国人ワンストップ相談センター、富山市外国人ワンストップ相談窓口、高岡市外国人生活相談コーナー、射水市外国人ヘルプデスク、法テラス地方事務局、やまぐち外国人総合相談センターの各相談員等

オ 相談件数

(ア) 相談言語対応別

日本語	英語	中国語	ベトナム語	ポルトガル語	その他	合計
346	126	369	41	729	93	1,704

(イ) 相談内容別

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て	教育	日本語学習	防災・災害	住宅	身分関係	交通・運転免許	通訳・翻訳	その他	計
144	126	64	48	207	97	182	58	2	68	33	53	362	260	1,704

※ 計 令和2年度 1,429件 → 令和3年度 1,338件 → 令和4年度 1,704件
うちコロナ関連 322件(22.5%) → 184件(13.8%) → 124件(7.3%)

㊦ (3) 地域日本語教育事業

ア 地域日本語教育体制整備事業

外国人住民を対象に基礎日本語教室を開催するとともに、県内の日本語教育環境を強化するため、日本語事業全般のコーディネート業務も行った。

4月10日(日)～2月4日(土) 全84回

南太閤山コミュニティセンター(射水市)	16回	37人
氷見市いきいき元気館(氷見市)	16回	33人
黒部市国際文化センター(黒部市)	26回	134人
福光福祉会館(南砺市)	26回	98人

計 302人

イ 日本語支援強化事業

○日本語交流サポーター養成講座の開催

日時 5月28日(土)～9月24日(土) 10:00～12:30

全12回

場所 環日本海交流会館

参加者 17人

○日本語教室運営支援事業

日本語教室運営アドバイザーを配置し、地域日本語教室に助言・指導を行った。

実績：太閤山日本語グループ 12回

日本語教室 in 黒部 6回

日本語ひろば滑川 6回

日本語教室 in 氷見 5回

計 29回

○日本語支援者スキルアップ研修会

日時 3月5日(日) 13:30～16:30

場所 環日本海交流会館

講師 沼田 好司氏(瀬戸少年院 法務教官・公認心理師)

講演 「外国籍少年の生きづらさ～母国と日本の狭間で生きる彼らの葛藤～」

ワークショップ 「外国ルーツの子ども・若者支援のために私たちができる事」

参加者 24人



(4) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時期：毎月第2土曜(※8月・2月は第3土曜日)

開催回数：12回(英語(8回)、中国語、ポルトガル語、ロシア語、ベトナム語(各1回))

会場：環日本海交流会館

参加者：延べ279名

(5) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援ボランティア研修（やさしい日本語コース）

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を実施

時 期：7月2日（土）
会 場：とやま国際センター研修室
講 師：NGO ダイバーシティとやま 宮田 妙子 氏
参加者数：12名

イ 災害時外国人支援ボランティア研修（多言語翻訳コース）

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施

時 期：7月9日（土）
会 場：インテック 111 ビル4階 スカイギャラリー
講 師：富山県国際交流員等
参加者数：8名

ウ 災害時外国人支援研修（自治体職員等担当者コース）

市町村担当者向けの災害時外国人支援基礎研修を実施

時 期：10月26日（水）
会 場：インテック 111 ビル4階 スカイギャラリー
講 師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏
参加者数：13名

エ 広域連携による防災研修

（北陸三県の県及び国際化協会が共同で持ち回り開催）

大規模災害時における石川県、福井県と連携した「災害時外国人支援防災研修」の実施

時 期：8月20日（土）
会 場：インテック 111 ビル4階 スカイギャラリー
講 師：特定非営利活動法人 多文化共生センター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
参加者数：27名 富山県10名、石川県9名、福井県8名

オ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」の運営訓練等の実施

時 期：10月16日（日）
場 所：小矢部クロスランドセンター1階 会議室
ファシリテーター：災害時外国人支援情報コーディネーター 中村 則明
参加者数：11名

(6) 外国人のための防災研修事業

万一の災害時に、県内在住の外国人が迅速かつ適切に対応できるよう、外国人を対象とした防災に関する講習会を実施した。

時 期：12月4日（日）
場 所：富山県総合運動公園会議室、四季防災館
講 師：特定非営利活動法人 富山県防災士会 村上 綾子 氏
参加者数：12名（在住外国人6名、通訳6名）



(7) オンライン多文化理解連続講座

富山に縁のある海外在住者、有識者等を講師に迎え、各国の歴史や文化、生活習慣等についてオンライン講座を開催した。

【1回目】

時 期：7月24日（日）
内 容：「私のビジュアルアートにおける日本文化の影響」
講 師：上田 タイス 氏（ブラジル在住 アーティスト）
参加者数：16名

【2回目】

時 期：10月8日（土）
内 容：「ニュージーランドの福祉と教育」
講 師：マリエル トナー 氏（ニュージーランド在住 教師）
参加者数：9名

【3回目】

時 期：11月27日（日）
内 容：「富山の8年が僕にもたらしたもの」
講 師：ネイサン ニューポート 氏（アメリカ在住 会社員）
参加者数：24名

【4回目】

時 期：1月14日（土）
内 容：「美容に効く漢方のはなし」
講 師：張 富剛 氏（中国在住 医師）
参加者数：9名

⑧（8）異文化理解コミュニケーションワークショップ開催事業

富山に在住する外国人と日本人との交流の機会を提供し、文化を超えたコミュニケーションスキルの向上を目指し、ワークショップを開催した。（JICA 共催）

【1回目】

時 期：7月10日（日）
内 容：ワークショップ「ゲームで体感！ チームビルディング」
参加者数：14名

【2回目】

時 期：2月19日（日）
内 容：立山かんじき、チューブソリ体験
ワークショップ「豊かな社会にとって大切なこと」
参加者数：16名



4 国際理解・研修事業

（計画額 2,723千円 実績額 1,141千円）

（1）語学講座の開催

講座名	コース	期 間	受講者数
中国語	入門	6/3～3/10	9名
韓国語	入門	6/2～3/16	20名
韓国語	初級	6/6～3/13	10名
英語	初級	6/1～3/15	20名
ポルトガル語	初級	6/1～3/8	4名
ベトナム語	入門	6/6～3/27	16名

開催回数：各講座 30回 計 79名

会 場：とやま国際センター研修室

※中国語（初級・中級）、ロシア語（入門）は、国際交流員の不在等のため開講せず。

（2）国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：69回

参加者数：延べ 3,993名

講 師：国際交流員、JICA 職員、青年海外協力隊OB、留学生など

（3）国際交流サロン

・ナマステ・インド

インドのさまざまなことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

開催回数：18回

参加者数：延べ 139名

会 場：とやま国際センター ラウンジ

⑧・ハロー・ベトナム

ベトナムのことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

開催回数：2回

参加者数：延べ 24名

会 場：とやま国際センター ラウンジ

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流・国際協力・多文化共生に対する関心を高めた。

時 期：7月17日(日)

参加者数：高校生23名

会 場：インテック111ビル4階 スカイギャラリー



(5) 国際交流ひろば

富山県国際交流員が各国の文化を紹介する「国際交流ひろば」を4回開催した。

テーマ：各国の料理

第1回 アメリカ料理 5月28日(土) 10:00~13:00

参加者 16名

第2回 ベトナム料理 7月2日(土) 14:00~17:00

参加者 16名

第3回 韓国料理 9月3日(土) 10:00~13:00

参加者 15名

第4回 アルゼンチン料理 2月12日(日) 14:00~17:00

参加者 16名

会 場：富山県民共生センター「サンフォルテ」

(6) 国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

(貸出実績)

民族衣装： 23点(6団体)

国 旗： 58点(7団体)

5 情報サービス事業

(計画額 2,391千円 実績額 2,110千円)

(1) SNS 発信事業

県民の多文化共生等に関する関心、理解を高めるとともに、県内在住の外国人に対して、生活に必要な情報を提供することなどを目的として、Facebookを通じて「やさしい日本語」やYouTubeによる情報発信(イベント広報動画など)を行った。

(2) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介

発行言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、ベトナム語

発行部数：隔月 2,350部

イ 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、県内在住外国人へのインタビュー、とやま国際センターの事業等を報告。144号、145号、146号、147号を発行。

(3) 多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、ベトナム語

配信回数：12回(4月~3月)

登録者数：285名(令和5年3月末)

(4) 国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介 (紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)	
通 訳 者	4 件	英語 (7) ロシア語 (1) ミャンマー語 (1)	計: 9 名
翻 訳 者	18 件	英語 (7) 中国語 (5) ポルトガル語 (3) フランス語 (1) 韓国語 (1) インドネシア語 (1)	計: 18 名
ホストファミリー	0 件		計: 0 名
日本語指導者	2 件	英語 (1) ポルトガル語 (1)	計: 2 名
海外事情紹介者	0 件		計: 0 名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

コミュニティ通訳をテーマに、国際交流人材バンク通訳・翻訳登録者を主な対象にしたセミナーをオンライン (Zoom) で開催

日 時: 2月18日(土)

会 場: オンライン (Zoom)

受講者数: 8名

内 容: コミュニティ通訳の世界～多文化共生社会におけるコミュニティ通訳の役割～
講師 内藤 稔 氏 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授)

6 環日本海交流会館管理運営事業

(計画額 9,981千円 実績額 9,037千円)

国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場などとして運営を行った。

- ・総利用者数 15,502名 (前年同期比 116.1%)
(一般利用者数 9,557名、会議室利用者数 5,945名 (うち、大会議室利用 2,117名))
- ・図書、DVD等の利用件数 655件
(図書 575件、DVD 64件、CD 13件)

7 富山県大連事務所運営事業

(計画額 30,847千円 実績額 30,847千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等

- ・国際課訪中の現地調整、随行 (松村謙三記念富山県・遼寧省友好奨学金交付式出席) (3月)、立地通商課訪中の現地調整 (3月)

イ 展示会等に対する協力・支援

- ・大連日本観光物産展 (4月)、日中国交正常化 50周年事業ジャパンフェスティバル in 瀋陽 (6月)、2022日本 (山東) 輸入商品博覧会 (7月)、第1回国際友好都市優品展 (西安) (8月)、日中国交正常化 50周年記念レセプション (瀋陽 9月、大連 11月)、第35回大連輸出入商品交易会 (12月)、大連保税區万衆雲庫越境 EC 商品 020 体験 JapanDay (2月)、MUJI ホテル北京での富山県伝統工芸品オンラインサロン (2月・3月計3回)

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・中日生態モデル新城着工式 (4月)、2022中日文化旅游 (大連) 交流大会 (5月)、大連太平洋湾合作創新区視察 (10月)、遼寧-日本経済貿易協力サミット (11月)、遼寧省・日本友好交流大会 (11月)、大連長興島経済技術開発区視察 (11月) ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社、大連市旅游局、南方航空等との面談、情報収集、PR等
- ・にいかわ観光圏旅行代理店向けオンライン商談会支援 (11月)
- ・大連事務所-全日本空輸大連支店共催富山県観光情報オンライン説明会 (12月計3回)
- ・在外公館主催天皇誕生日レセプション出展 (2月、3月)



オ その他

- ・大連富山企業会の開催（6月）、神奈川県企業会の参加（10月）
企業視察、意見交換会等の開催
- ・県内企業の中国への県産品輸出に係る支援（税務・法律相談等含む）
観光PRライブ配信（春の四重奏4月、雪の大谷5月）、伝統工芸事業者との中継ライブコマース（4月、5月、7月）、在瀋陽日本国総領事館連携ライブコマース（6月、2月）、フラマホテルでの日本酒試飲会&ライブコマース（2月）、MUJI ホテル北京でのライブコマース（2月・3月計3回）、JETRO大連とのライブコマース（3月）、富山県企業による大連市企業へのオンライン説明会（3月）

（2）各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・ICTを活用したオンライン学校交流への支援（5月、6月）
- ・ICTを活用したキャリアビジョン教育への支援（6月）
- ・大連日本語サークルの講師（10月）
- ・大連外国語大学日本語学院主催オンライン講座の支援（2月）

イ 友好交流事業への協力

- ・遼寧ファン倶楽部に対する支援

（3）富山ファン倶楽部の活動

- ア 総会の開催（3月）、大連分会の開催（3月）
- イ 会員への富山県情報の提供
- ウ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進（会員数419名（令和5年3月末時点））

II 日本海学推進事業

（計画額 7,504千円 実績額 6,000千円）

1 日本海学講座

講座名	講師	開催日	参加人数	うちオンライン参加人数
栽培漁業で支える富山湾の漁業資源	富山県農林水産総合技術センター水産研究所 栽培・深層水課長 村木 誠一 氏	8月13日（土）	44名	12名
日本海・富山湾の海洋ごみ問題	富山県立大学名誉教授 楠井 隆史 氏	10月15日（土）	45名	11名
北前船と富山ー研究の歩みと町並み散策ー	富山県文化財アドバイザー 松島 吉信 氏	11月12日（土）	26名	11名
気候変動がもたらす日本海の環境変化	国立環境研究所 主幹研究員 荒巻 能史 氏	12月17日（土）	39名	8名

2 日本海学シンポジウム

- 時 期：1月21日（土）
会 場：北日本新聞ホール
参加者数：80名（うちオンライン参加12名）
テ ー マ：「潟と日本人ー日本海の生態史ー」
基調講演：菅 豊（東京大学 東洋文化研究所 教授）



3 大学講座等推進事業

大学	内 容
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に今村弘子氏（富山大学名誉教授）ほか2名を派遣
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に藤田富士夫氏（日本海学推進機構アドバイザー）ほか2名を派遣
富山県立大学	「環境論Ⅰ」に和田直也氏（富山大学極東地域研究センター長）を派遣
	「富山と日本海」に松島吉信氏（富山県文化財アドバイザー）ほか2名を派遣

4 日本海学研究グループ支援事業

令和4年度助成実績 応募11件、助成8件、助成総額1,600,000円

令和3年度助成分成果発表会

時 期：7月23日(土)

会 場：県民会館701号室

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「農業における地域資源利用の可能性と課題」

期 日：3月15日(水)

場 所：富山国際会議場

主 催：富山大学研究推進機構極東地域研究センター

6 富山湾の魅力体験親子教室

開 催 日：9月17日(土)

場 所：魚津埋没林博物館、魚津水族館

参 加 者：17名(子ども9名、保護者8名)



Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 41,592千円 実績額 40,025千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	令和3年度件数	令和4年度件数	対比(%)
新規発給	2,218	7,626	343.8%
記載事項変更旅券	57	140	245.6%
渡航先追加	0	0	-%
査証欄増補	3	7	233.3%

令和元年度対比
△67.4%